

2025-2027年度 中期経営方針

— 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて —

2025-2027年度中期経営方針の策定にあたって

当社を取り巻く外部環境は目まぐるしく変化し、不透明性・不確実性が大きく増している。米国の関税リスク、中国自動車メーカー等の参入による競争激化、さらに電動化を巡る各国の政策・市場動向の変化など、将来を予見することが非常に困難な状況にあると言わざるを得ない。

このような経営環境を踏まえ、2025年度からの3カ年計画では、引き続き構造改革を推進するとともに、コスト競争力の一層の強化に取り組む。さらに、新商品や新分野に向け戦略的技術開発を加速する。これらの取り組みを通じて、さらなる成長に向けた強固な事業基盤を構築する。

- 1. 現状分析**
- 2. 方針と目標**
- 3. 取り組む施策**

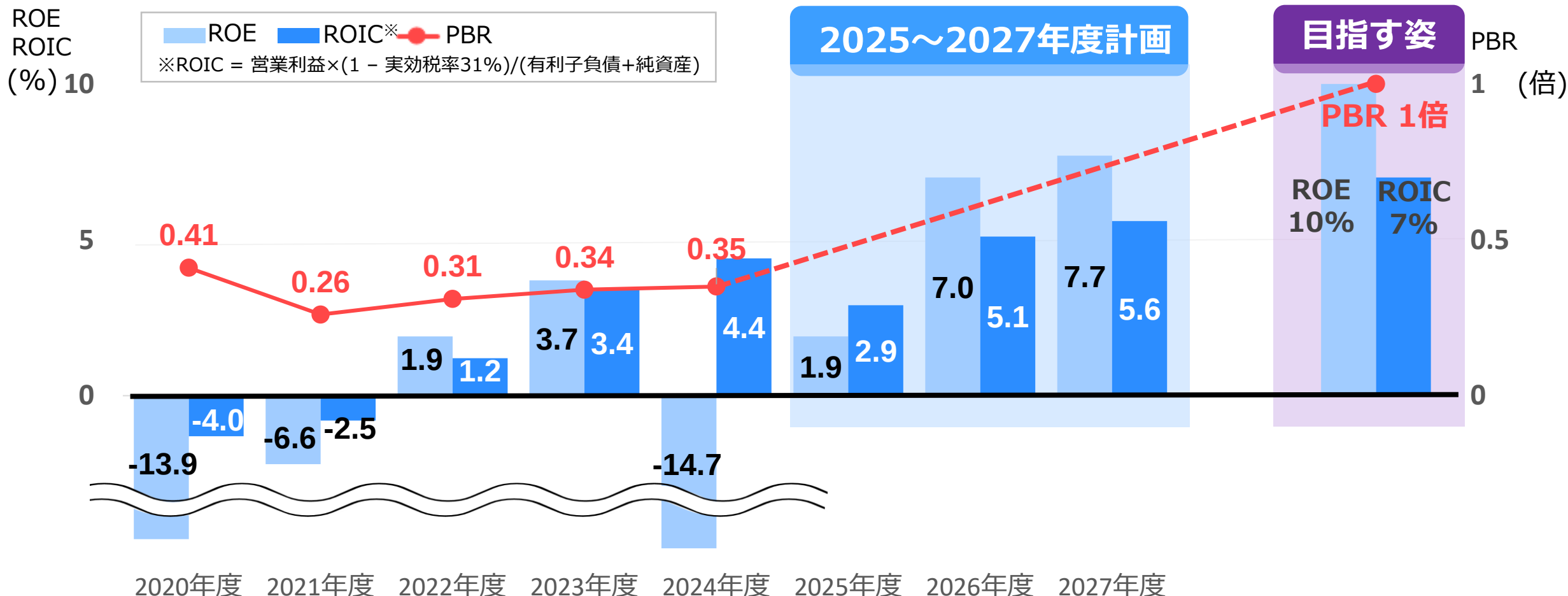
1. 現状分析

2. 方針と目標

3. 取り組む施策

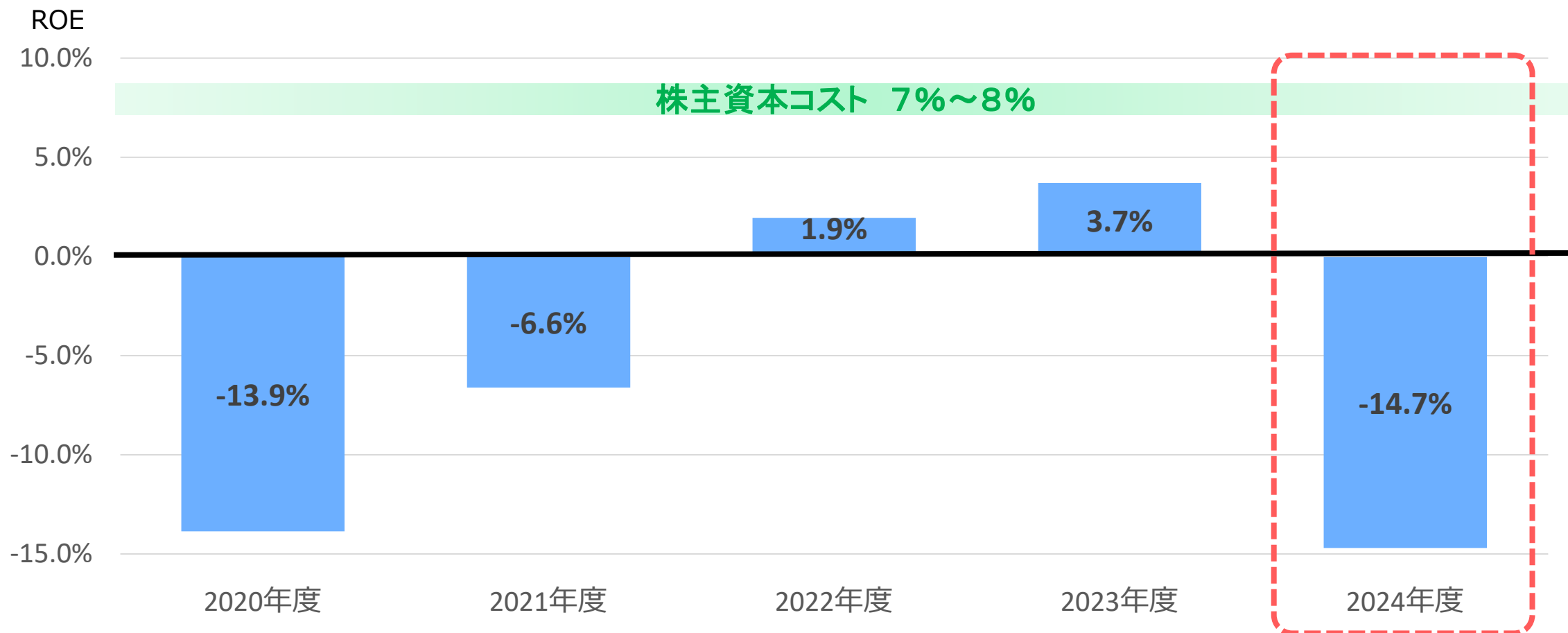
ROE・ROIC・PBRの推移

- コロナ禍から順調に回復も足元中国の急減速もあり収益伸び悩み
- 生産台数の伸びが見通せない中での収益力の強化が課題



株主資本コストとROEの関係

株主資本コストを上回るROEの達成に向けた取り組みの強化が必要



1. 現状分析
- 2. 方針と目標**
3. 取り組む施策

環境認識

自動車メーカー動向の変化

- 中国OEM等新規参入の増加
- 価格競争の激化

電動車動向の不透明化

- 米国EV政策の転換
- EU等のCO2排出規制緩和
- BEV、HEV、PHEVの競合

経済動向の不安定化

- 米国関税リスク等の増大
- 政治対立による経済政策不調

2025年度

2026年度以降

構造改革

最適な生産体制の構築

スマート化

コスト競争力の向上

成長戦略

戦略的技術開発の充実・加速

事業・財務面だけでなく、各ステークホルダーに対する取り組みを強化

PBR向上

ROEの向上

事業戦略

- 最適な生産体制の構築
- スマート化によるコスト競争力の向上
- 戦略的技術開発の充実・加速

財務戦略

- 生産数量の変化に強い収益体質
- 事業構造に最適な自己資本

PERの改善

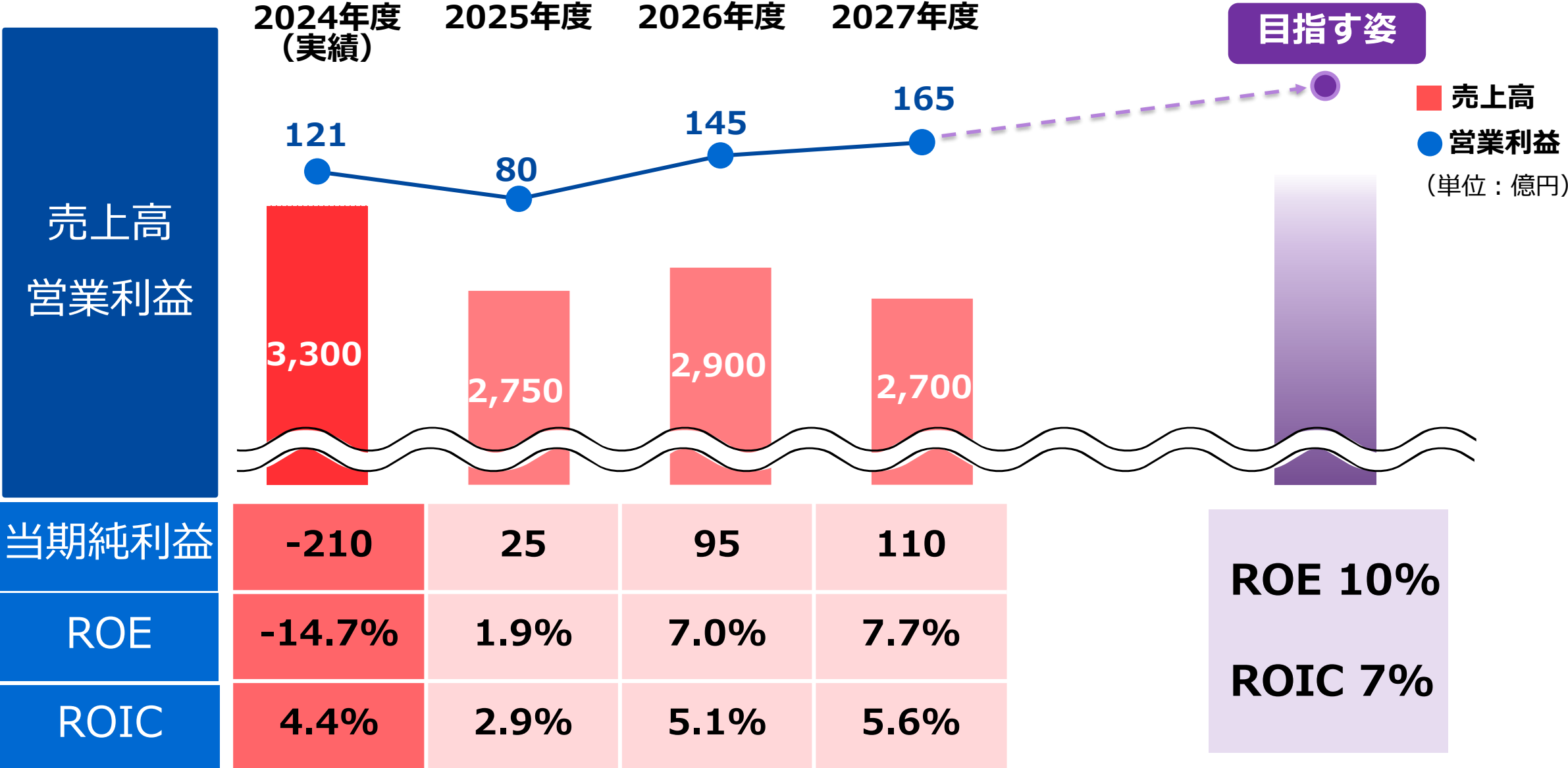
株主還元の充実

- DOEを指標とした配当政策
- 機動的な自己株式の取得

成長性への期待

- サステナビリティ経営の推進
- 投資家との対話強化

2025-2027年度 中期経営方針経営指標と目標



1. 現状分析
2. 方針と目標
- 3. 取り組む施策**

構造改革

最適な生産体制の構築

生産体制を抜本的に見直し

スマート化

コスト競争力の向上

「スマート工場」
「スマート開発」実現
への取り組みを強化

成長戦略

戦略的技術開発の充実・加速

既存商品の付加価値向上に加え、新商品や新分野に向けた技術開発を加速

収益体質の強化と適切な自己資本の水準

事業戦略

株主還元の充実

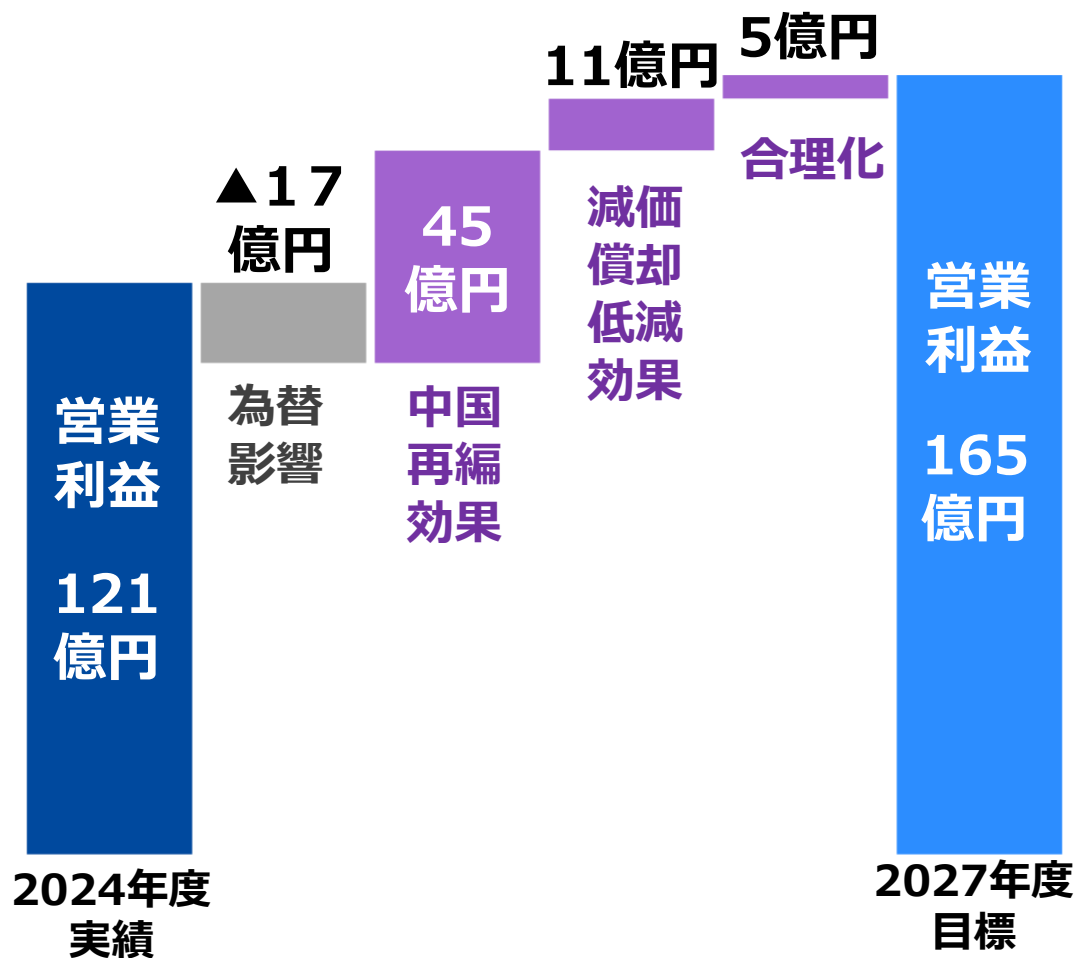
財務戦略

成長性への期待

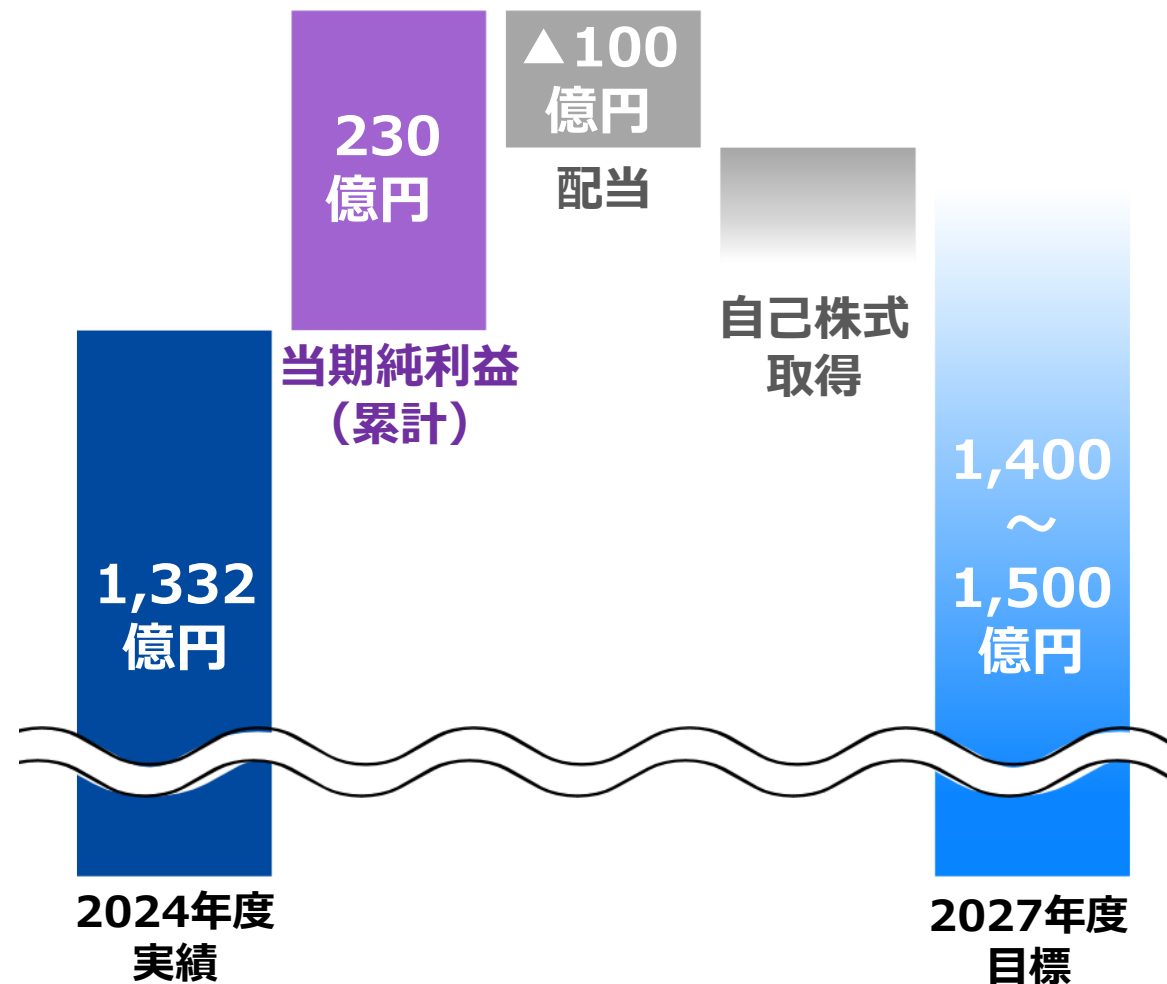


13

生産数量の変化に強い収益体質



事業構造に最適な自己資本



株主還元の充実

事業戦略

株主還元の充実

財務戦略

成長性への期待

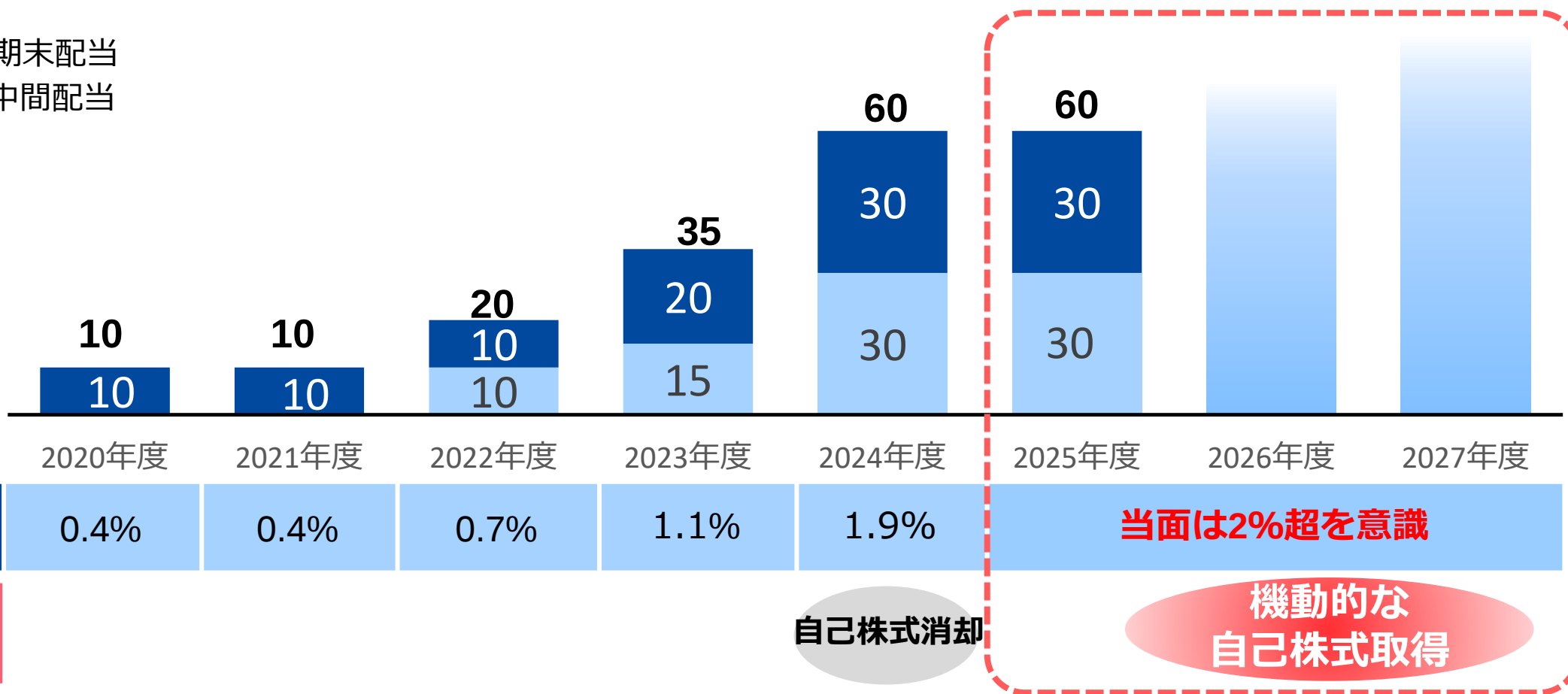


14

- 配当は引き続きDOEを指標とし、当面2%超、中期的に3%を目指す
- 適切な自己資本の水準を維持しつつ自己株式取得を機動的に実施

(円/株)

■ 期末配当
■ 中間配当



経済的な価値の創出に加え、社会的な価値の創出を目指し、
「Well-being」「ESGの取り組み」「カーボンニュートラル」に取り組んでいる

Well-being

・人的資本を強化

- ✓ キャリア充実の施策実施
- ✓ 女性管理職比率の更なる向上
- ✓ 心理的安全性向上
(全管理職向け研修の実施等)
- ✓ ヘルスリテラシー向上

ESGの 取り組み

・資源の有効活用

- ✓ リサイクル材の活用拡大
- ✓ 産業廃棄物リサイクル率向上

・社会貢献活動の推進

- ✓ 環境保全、次世代育成、
地域活動を中心に活動を推進

・コンプライアンスの強化

カーボン ニュートラル

・カーボンニュートラルの推進

- (2050年度 事業活動で排出する
GHG 排出量実質ゼロ)
- ✓ 環境貢献製品の開発推進
- ✓ 再生可能エネルギーの活用
- ✓ 省エネルギー活動の推進

株主・投資家との積極的な対話に加え、IRサイトの刷新や展示会への参加など、情報発信の充実に取り組んでいる

2024年度取り組み

- 積極的に株主・投資家との対話を実施し、対話を通じて把握した株主・投資家の意見は取締役会でフィードバックする

	スピーカー	回数
決算説明会	代表取締役社長、財務担当役員、技術担当役員、工場・生産担当役員	2回
機関投資家・アナリストとの個別対話	財務担当役員、IR担当役員	73回
議決権行使担当者等との個別対話	IR担当役員	8回

- クルマの先端技術分野において世界最大の展示会である「オートモティブ ワールド2025」に出展

- ✓ 車体骨格統合部品、e-Axle 構成部品や大型樹脂部品など車体の軽量化および環境負荷低減に貢献する部品を中心に展示



- IRサイトを含むコーポレートサイトの刷新により、開示情報の充実

- ✓ 決算情報、財務データ等のコンテンツを整理・拡充
- ✓ 必要な情報を一目で把握できる「一目でわかるユニプレス」ページの新設 など



今後の取り組み

- 当社への理解を深めていただくため、技術説明会、工場見学会等の開催を検討
- 統合報告書の開示を検討



プレスのかで、未来にプラス。